

# きらめき

KIRAMEKI



元気あふれる踊りをありがとう！



かいせ保育園パワー！

げんき  
げんき  
げんき  
くれたよ！

ちびっこに首から飾りをかけてもらって思わず・・・



皆瀬保育園のちびっ子のパワーをもらった皆さん。年は離れていても通い合うココロ。ふれあいの中で笑顔はじける時間はあつという間。また会えるのを楽しみにしているよ。今日はありがとう！



第20回 白十字会 Institute

白十字会 Institute  
アルカスSASEBO

お題 1  
第1走者～第4走者の各ランナーとしての立場からのコメント



終な男性も



白十字会グループの職員が一堂に会して開催される「白十字会 Institute (学術大会)」がアルカスSASEBOで盛大に開催。今年のテーマは『入院された日から、患者さんの明日を全員で考えよう』。我々、老健施設で言えば『入所された日から利用者さんの・・・』となるでしょう。

このシンプルでわかりやすいテーマの通り、住み慣れた地域、自宅で過ごして頂くためにグループの力を結集していくことを確認できた一日となりました。

この彩り、食欲をそそりますね。ひな祭り寿司パーティでは、職人さんが鮮やかな手つきで目の前で握ってくれます。そりゃあ美味しさに決まってるでしょ。恒例の着物美人も春の装いに彩りを加えてくれます。今年は初の男性も登場し、一段とにぎやかなパーティになりました。



## 春彩り。寿司も彩り。



バレンタインには少し遅れましたがチョコパフェを作りました。  
**！初恋の味！**  
気分は乙女に戻って懐かしい初恋の味と言ったところでしょうか。



**お知らせ**  
4月からの消費税率変更に伴い、利用料金の変更が行われました。また、食事代の金額も変更いたしましたのでご了承お願い致します。ご不明な点はお気軽にお尋ね下さい。

事故発生！と思っ  
てよくよく近づいてみたら2台の間にわずかな隙間が。  
夜間は玄関の屋根の下に軽自動車を2台停めていますが、どうも

運転手が玄関の自動ドアのガラスに映る車体を見ながら「ギリ止め」をしてるらしい。  
ちょっとドキッとした光景でした。



**事故！**  
と思ったら・・・

現在当施設ではバスが8台、軽自動車が7台運行しています。通所リハビリの送迎をはじめ、入所、ショートでの送迎、病院受診、花見などの外出に活躍しています。もちろん安全第一。車を見かけたら優しく見守ってください。

## マイホームに帰ろう

今回はベッドまわりの福祉用具をご紹介します。身体は状況でベッドで一日を過ごされる方も多くいらっしゃいます。ベッド周辺は転倒など事故のリスクも高い所です。快適に安全に過ごされるよう活用してはいかがでしょうか。



**ベッド用手すり**  
ベッドからの乗り降りの際につかまり、身体を支えることができます。L型に折れますので立ち上がり便利です。



**サイドレール(ベッド柵)**  
ベッドからの転落や寝具が落ちるのを防ぎます。

**マットレス**  
ベッドは背上げ・ひざ上げタイプがありマットレスもその動きに十分従う屈曲性を持つものが主流です。また褥そう(床ずれ)を防ぐタイプもあります。

**テーブル**  
ベッドの上での食事の時などに使います。写真はキャスター付きの片足型ですが、ほかに両端にキャスターがついた門型タイプやベッドサイドに差し込むタイプなどがあります。

# 老健は専門職の集まりです。

私たちは専門職のプライドとチームワークで利用者さんの生活を考え、支えます。

老健施設は「専門職の集まり」と言われています。医師、看護師、介護福祉士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、介護支援専門員、管理栄養士など、資格を持った職員が専門的な立場とチームワークで利用者さんの生活を考えます。



## 医師

病気や障害を持った利用者さんも多くいらっしゃいます。そういった利用者さんの日々の状態観察やお薬の処方などを行い、時には主治医と連携を取りながら健康管理に努めています。

## 看護師



医師の指示に従い、治療や薬の管理などを行います。状態観察がとても大切で、顔色や呼吸の状態、皮膚のトラブルなど、普段と違った様子に気づく「観察力」が求められる仕事です。

## 介護職員（介護福祉士）

利用者さんの生活全般の介助を行います。看護師と同じで「観察力」や人を大事にする「人間力」も大切です。当施設では国家資格の介護福祉士の資格を持っている介護職員は約73%います。



## 介護支援専門員 (ケアマネージャー)



入所されたら介護サービス計画（ケアプラン）を作成します。自宅に帰って安心して生活ができるよう、「自立支援」を念頭においた計画を、ご本人、ご家族の思いを汲みながら立案します。

## 支援相談員

キラメキの窓口になります。入所、通所などサービスに関する相談・申し込みを受け付け、入所後は在宅復帰を支援するためご本人、ご家族などと一緒に考えていきます。



## 管理栄養士



毎日の大切な食を管理いたします。栄養管理をはじめ、その方に合った食事の形態を言語聴覚士と共に考えます。食事が入らないと元気にリハビリはできません。今日も美味しい笑顔を見れるよう頑張ります。



## リハビリ

理学療法士（PT）  
作業療法士（OT）  
言語聴覚士（ST）

PTは運動療法によって身体機能の改善を、OTは作業活動を通じて心身機能の回復を目指し、STは言語障害などの訓練や、噛む、飲み込むといった口に関わる訓練を行います。いずれも医師や看護師、栄養士等と連携して行います。リハビリ助手3人と元気な声が毎日響いています。

## ほかにもこんな仕事人が

事務員、リハビリ助手、設備管理、運転士、清掃員、洗濯員がそれぞれプロ意識を持って、26年度も頑張ります！宜しくお祈りします！

## 老健施設に求められる 在宅復帰 在宅支援

老健施設の本来の目的は、リハビリをして身体機能を改善したり、栄養状態を整えたり、生活を活性化させて本来のご利用者の「居場所」である、住み慣れた地域、そしてご自宅に帰っていただくこと。その為に老健施設は存在します。帰られた後も、繰り返し利用したり、通所リハビリやショートステイなど利用しながら在宅生活を継続できるよう支援していきます。



▲ご本人、ご家族参加しての施設サービス担当者会議



▲居宅のケアマネージャー交えて退所前訪問



▲朝のミーティング風景

居宅介護支援事業所 併設  
在宅復帰後は、在宅サービス計画の立案など自宅での生活を支援いたします。

ケアマネ 3名

## さぎ・煌きの里は 在宅バックアップ施設です。

それぞれの専門職種がチームとなり、利用者さんの生活をどう支えるか、ご本人らしい生活の援助に必要なものは何か、ご自宅の生活をイメージしながら在宅復帰と在宅支援を一体的に、そしてご本人、ご家族と一緒に考え、サポートしていきます。

